

パレードへようこそ (2014)

PRIDE

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 121分

初公開日 2015/04/04

公開情報 セテラ・インターナショナル

【キャッチコピー】

明日に向かって歌え！

英国サッチャー政権下、境遇の違う人々をつないだ深い友情と感動の実話

【解説】

サッチャー政権下の英国で実際にあった驚きの実話を映画化したハートウォーミング・ストーリー。不況に苦しむウェールズの炭坑労働者たちと、ひよんなことから彼らの支援に立ち上がったロンドンの同性愛者グループが、偏見や衝突を乗り越え、固い絆で結ばれていく奇妙にして感動的な友情の物語を、ユーモアを織り交ぜ心温まるタッチで綴る。監督は舞台演出を中心に活躍し、長編映画は99年の「背信の行方」に続いて2作目となるマシュー・ウォーチャス。

1984年、不況に揺れるサッチャー政権下の英国。20ヵ所もの炭坑の閉鎖が決まり、それに抗議する炭鉱夫のストライキは4ヵ月目に入ろうとしていた。ロンドンに暮らすゲイのマークは、そのニュースを見て彼らを支援しようと、仲間たちとゲイのパレードで募金活動を行い、合わせて“LGSM（炭坑夫支援レズビアン&ゲイ会）”という支援組織も立ち上げる。さっそく、集まった寄付金を送ろうと全国炭坑労働組合に連絡を取るも、ゲイというだけで門前払いを食らってしまう。そこでマークは炭坑に直接電話してみたところ、ウェールズの炭坑町ディライスは支援を受け入れてくれることに。こうして、まるで水と油の2つのグループの交流が思わぬ形で始まるのだったが…。

【クレジット】

監督	マシュー・ウォーチャス	Matthew Warchus	
製作	デヴィッド・リビングストーン	David Livingstone	
製作総指揮	キャメロン・マクラッケン	Cameron McCracken	
	クリスティーン・ランガン	Christine Langan	
	ジェームズ・クレイトン	James Clayton	
脚本	スティーヴン・ベレスフォード	Stephen Beresford	
撮影	タト・ラドクリフ	Tat Radcliffe	
プロダクションデザイン	サイモン・ボウルズ	Simon Bowles	
衣装デザイン	シャーロット・ウォルター	Charlotte Walter	
編集	メラニー・アン・オリヴァー	Melanie Ann Oliver	
音楽	クリストファー・ナイチンゲイル	Christopher Nightingale	
出演	ビル・ナイ	Bill Nighy	クリフ
	イメルダ・スタウトン	Imelda Staunton	ヘフィーナ
	ドミニク・ウェスト	Dominic West	ジョナサン
	パディ・コンシダイン	Paddy Considine	ダイ

ジョージ・マッケイ	George MacKay	ジョー
ジョセフ・ギルガン	Joseph Gilgun	マイク
アンドリュー・スコット	Andrew Scott	ゲシン
ベン・シュネッツァー	Ben Schnetzer	マーク
フェイ・マーセイ	Faye Marsay	ステフ
フレディ・フォックス	Freddie Fox	ジェフ